

「立正安国論」奏進七五〇年記念 「日蓮と法華の名宝」展特集号

「日蓮と法華の名宝」展開催!!

—華ひらく京都町衆文化—

●期間 平成21年10月10日～11月23日 ●会場 京都国立博物館

日蓮聖人門連だより

発行
日蓮聖人門下連合会
〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話 (03) 3751-7181

平成21年9月23日
第40号

本年十月十日より京都国立博物館において「日蓮と法華の名宝」展が開催されるのは既報の通りだが、このたび京都と東京において記者発表会が行われ、広く一般への広報が始められた。京都では、六月三十日午後二時より京都国立博物館に二十三社、三十六名の記者を集めて発表が行われた。まず担当学芸員より、報道資料に基づいて本展概要及び資料掲載の展覧宝物につ

いての説明があり、それを受けて記者から何点かの質問がなされた。その後、展示室に移動し、実際に展示されている数点について拝観しながら各社による取材が進められた。中でも注目を集めたのは本展覧会の事前調査中新たに発見された高麗仏画「弥勒下生変相図」（顕本法華宗妙満寺蔵）である。報道資料等によると、釈尊の御入滅後五十六億七千万年を経て龍華樹の下で悟り

を開かれる弥勒仏と、両親である王と王妃がその説法を聴聞して出家をされる場面が描いてあり、現存する高麗仏画の中では世界で三番目に古く更に宮廷画家の作とわかるものでは最古のものであるとのことである。

特に今まで存在が知られていなかった「画文翰署」という宮廷画家の組織に所属する最高級画家である李晟が画いた点について京博の大原嘉豊学芸員は「高麗の宮廷画家組織の存在を明らかにし、高麗仏画史を塗り替える重要な文化財級の発見」としている。

その他「餓鬼腹茶入」（日蓮宗本願寺蔵）は、足利尊氏から本願寺第四世日静上人に送られたと伝えられる中国製の名物茶入れである。

また、「絵曼荼羅」（日蓮宗妙傳寺蔵）は、長谷川等伯がまだ能登にあり信春と称していた頃の作であり、これは越中本願寺の日蓮上人の需めに応じて画かれたものとされるが日蓮聖人のもとに日朗上人と日像上人が描かれていたのが興味深い。

記者発表の翌日には、共催の日本経済新聞全国版を始めとして、各紙の関西版には新発見を中心に報道がなされ、反響の大きさを物語っていた。

「日蓮と法華の名宝」展を開催するにあたり

日蓮聖人門下連合会理事長
小松浄慎



今年の十月十日から十一月二十三日まで、京都国立博物館に於きまして立正安国論七五〇年記念特別展「日蓮と法華の名宝—華ひらく京都町衆文化—」が開催されるにあたりまして一言御挨拶申し上げます。

日蓮聖人が『立正安国論』を奏進され七五十年という節目の年に、歴史ある京都の地において「日蓮と法華の名宝展」が開催されますことは、門弟一同喜びに堪えない所であります。

顧みますと、平成十五年に東京国立博物館にて開催されました「日蓮聖人展」は大成功のうち幕を下ろし、未信徒の方々にも法華経との縁を結んで頂きましたことは、大変喜ばしいことでもあります。また、混迷する社会に対し、門下連合会と致しましては、日蓮聖人の大誓願である立正安国・仏国土顕現の実現に向け、法華経、お題目を社会に広めて行くことがその使命であると確信している次第であります。

日蓮聖人門下連合会においては、生きとし生けるもの全てが安穩に過ごせる社会の実現に向け、一人ひとり邁進していかねばなりません。

結びに、「日蓮と法華の名宝」展が開催されるにあたりご尽力を賜りました日蓮聖人門下連合会の各聖各位は、衷心より感謝申し上げます。この展覧会が皆様方と異体同心して無事に円成致しますことを祈念し御挨拶と致します。



平成21年7月2日「記者会見」・日本外国特派員協会にて

門下連合会からは小松浄慎理事長、京都国立博物館からは大原嘉豊学芸員、尾野善裕工芸室長の両名、日本経済新聞社からは山脇晴子文化事業局長が出席

し、小松理事長挨拶の後両学芸員からの概要説明が行われた。東京では実物を展示することは出来ないためプロジェクトを使っての説明であったが多くの記者が熱心に耳を傾けていた。

さて、今回新発見の高麗仏画「弥勒下生変相図」が画かれたのは、元を建国したフビライ・ハンの最晩年期にあたる一二九四年だが、日像上人が京都で布教を始められたのも同じ一二九四年。恰も日像上人の帝都弘通にあわせるかのように画かれた弥勒仏が、立正安国論奏進七五〇年の記念の年に同じ京都の地で見出されたことは、単なる偶然なのだろうか。

釈尊出世の本懐である法華経を「最第一」と弘教された日蓮聖人と日像上人の魂魄が、七〇〇年の時を超えて京都に法華の道場を涌出される為の必然だったのではないかと考えてならない。であるならば門下僧俗は勿論のこと、出来るだけ多くの未聞の方々に京都国立博物館という道場にお出で頂き、法華経信仰への縁を願うものである。

平成十五年初頭に東京国立博物館において開催された「大日蓮展」では、厳冬期でありながら十五万人を超える人々が来場されたが、それは、日常生活の中にあって葬儀や法要といった場面ではしか仏教と接し得ない多くの現代人にとり、「大日蓮展」が法華経美術や文化を通して真の仏教とふれあい、自身の心を安らぎで満たしていく貴重な機会であったからに他ならない。

◆明治維新の時、日本は仏教を棄てて西洋文明を受け入れた。以来、科学文明は急速に発展したが、諸法無我を説く仏教文化を失ったとはいえないか？

◆オバマ大統領が誕生する少し前に小子はアメリカにいた。自国の武力一辺倒の国策に反対していた人々は熱狂的に新大統領の誕生を喜んだ。

◆が、その大統領もアフガニスタンに増兵してテロリストをせん滅するという。一方「アメリカこそが世界最大のテロ国家だ」と侵略され、虐殺されたと思える人々は怒る。

◆もし人間ばかりか鳥やけものや山川草木までもが、縁に由って結ばれあって共存共生しているとするならば、人間の欲望至上主義の哲学、宗教、国家は自から亡びの道を歩まねばならない。

◆お釈迦さまの前世の物語には一切衆生を救わんが為に捨身供養した説話が累々とつづられている。暴力、武力からの解脱。

◆われらもまた大音声に南無妙法蓮華経とお唱え申し上げて、怨親平等にお互いの仏さまを拝み合うこと。これが絶対平和を創造する如来秘密神通の力ではなからうか。

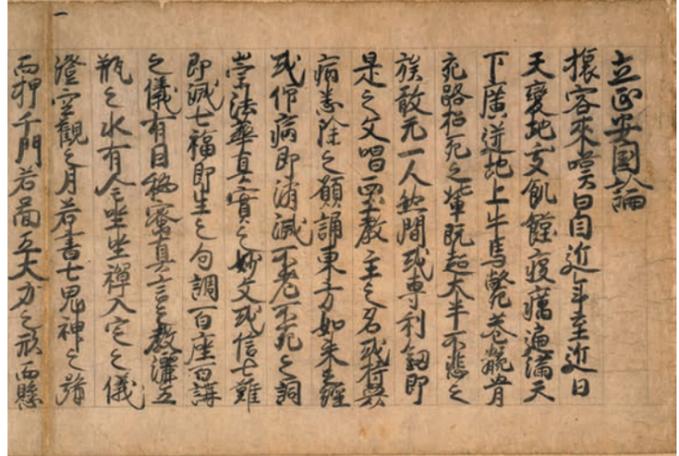
（暉）

從地ゆじゆつ

◆わが日本列島では一年間に三万人余の人が自殺しているという。鳥やけものや樹木や花が、自らで自らの命を殺つとは聞かないから、人間とは自然環境とかけ離れた自我の生活をしているものだと思う。



法華経 紙背尊性法親王消息(鎌倉時代) 尊性法親王筆 南・北真経寺



立正安国論(鎌倉時代、文永六年、1269年) 日蓮筆 法華経寺



弥勒下生变相图(高麗時代・1294年) 李晟筆 妙満寺

初公開!!

日蓮と法華の名宝

華ひらく京都町衆文化



日蓮坐像(鎌倉時代) 院興作 妙覚寺



日蓮聖人坐像(元弘元年、1331年) 法華寺



絵曼荼羅(室町時代、永禄11年、1568年) 長谷川等伯筆 妙傳寺

記者会見資料より

大本山 正中山 法華経寺蔵 国宝『立正安国論』奏進七五〇年記念企画のご案内

宗祖ご聖筆「立正安国」扁額

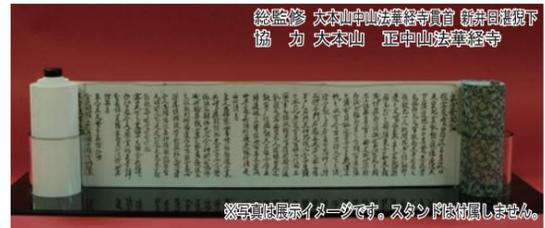
大本山正中山法華経寺恪護 日蓮聖人ご真筆 国宝『立正安国論』(縮刷版)



※写真はAタイプになります

頒布価格 **12,600円** (税込・円別)

サイズ 天地11cm × 全長607cm (巻いた状態での幅・約4cm)
仕立 草花小紋 鳥の子紙使用 軸先 花梨 桐箱入



総監修 大本山正中山法華経寺貫首 親井國経様下 協力 大本山正中山法華経寺 企画 株式会社 日蓮宗新聞社

※写真は展示イメージです。スタジオ撮影は致しません。

A 寺院向・特注品 サイズ 天地42.4cm × 幅136.3cm
頒布価格 **200,000円** (税込・円1,050円)
仕立 額縁 黒艶有カシュー漆仕上、アクリル樹脂板付
総縁 貴船緞子(茶金・牡丹柄)
使用緞子 外廻 合金欄「納戸つば型蜀江紋」
中廻 新金欄「朱大橙雲」

B 寺院向 サイズ 天地36.3cm × 幅115.1cm
頒布価格 **100,000円** (税込・円1,050円)
仕立 額縁 黒艶有カシュー漆仕上、アクリル樹脂板付
使用緞子 外廻 合金欄「納戸八釜牡丹紋」
中廻 新金欄「朱大橙雲」

C 家庭・一般向 サイズ 天地26cm × 幅80cm
頒布価格 **38,000円** (税込・円1,050円)
仕立 額縁 黒艶有カシュー漆仕上、アクリル樹脂板付
使用緞子 外廻 合金欄「貴船緞子」
中廻 新金欄「朱大橙雲」

総監修 大本山正中山法華経寺貫首 親井國経様下
文字監修 東京都新宿区戒行寺住職 星 弘道 師
協力 大本山正中山法華経寺
企画 株式会社 日蓮宗新聞社
本扁額は、宗祖日蓮聖人のご真筆『立正安国論』より集字拡大して横に配列したものです。上質な鳥の子紙(斐紙)を使用し、丁寧に本表装を施しました。

株)日蓮宗新聞社 〒146-0082 東京都大田区池上 7-23-3 TEL03-3755-5271/FAX03-3753-7028

※注文よりお届けまで2週間ほどかかります



門連時報

身延理事会開催さる

平成二十一年五月二十五日(月)にて法味言上及び記念撮影。続日蓮宗総本山身延山久遠寺で、「日蓮聖人門下連合会祖廟参詣・身延理事会」が開催され、全国日蓮聖人門下連合会顧問・常任理事・理事・監査・大阪門下懇話会代表など計十四名が参加した。

午前十一時に日蓮聖人御廟所常唱殿に集合し、祖廟及び御草庵にて法味言上及び記念撮影。続き、大本堂に移動し法味言上の後、報恩閣に移動。午後一時半より理事会が開催された。

小松浄慎理事長が座長となり議題に沿って議事を進行。先に「平成二十年度事業報告」を事務局より報告。常任理事会・理事会・監査の開催、「門連だより」



平成21年5月25日 於 身延山久遠寺

発行に関する機関紙編集委員会の開催、各派門連役員の変更、祖廟輪番の報告がなされ、続いて、「平成二十年度決算」について事務局より報告の後、別所日山監査より監査会の報告がなされ承認。

次に、「平成二十一年度事業計画」を事務局より報告。祖廟参詣、理事会開催、「門連だより」の年二回(第四十号・第四十一号)の発行について事務局より説明し、続き、「平成二十一年度予算案」についての報告がなされ、前年度の身延理事会で決定された各派分担金の増額による予算案の変更、「日蓮聖人御降誕八百年事業資金」より三百万円を特別会計として本年開催の「立正安国論」

奏進七百五十年記念特別展「日蓮と法華の名宝」展事業費として計上することが提案され承認。

次に、京都門下連合会理事長藤井照源理事長及び大阪門下懇話会中村日遊理事長より活動報告がなされた。

次に、「日蓮と法華の名宝」展の進捗状況を日蓮宗生駒雅幸担当より報告、各派に本展への協力を要請すると共に、六月三十日京都国立博物館・七月二日日本外国特派員協会(プレスクラブ)にて記者会見が行われることが報告された。午後三時に閉会。

会場を日本平ホテルに移し、午後六時より懇親会を開催、会員相互の親睦を深めた。

立教開宗会奉行 比叡山横川定光院本堂にて

京都日蓮聖人門下連合会

京都日蓮聖人門下連合会(藤井照源理事長)では四月二十八日、比叡山横川定光院で宗祖立教開宗会を開催し、門下連合各派本山貫首と僧侶檀信徒約百三十人が参加した。

晴天の中、バス二台で京都市の本山頂妙寺を出発し、一同は



遅咲きの八重桜やつつじが新緑に映える参道を各派交流しながら登詣した。

法要に先立って赤塚高明師(法華宗陣門流)が「立正への道」と題し法話。特攻隊だった父親のこと、自らのガンを吐露し、「今ここに集えることは奇跡。それに気づき正しい心持ち、考え方、行いをみんな広めていきましょう」と訴えた。

(藤井照源)

良書紹介



日蓮聖人略伝

相澤宏明著

日蓮聖人の人格や宗教については、現在のわが国およびわが国が置かれている世界情勢を視野に入れつつ検討しなければ意味がない。本書は聖人の再評価をめざし、独自の法論でアプローチする聖人研究の入門書。発行・展転社/新書並製/1050円(税込)

年月日	氏名	宗派	門連役職	就任	退任
平成二一・三・二一	阿曾久成	顕本法華宗	理事	就任	退任
平成二一・三・二一	朝倉俊幸	顕本法華宗	理事	就任	退任
平成二一・三・二一	鳥田幸晴	顕本法華宗	理事	就任	退任
平成二一・三・二一	古瀬久馨	顕本法華宗	理事	就任	退任
平成二一・七・二六	原智功	日蓮正宗	常任理事	就任	退任
平成二一・七・二六	原光承	日蓮正宗	常任理事	就任	退任
平成二一・三・三一	和田龍昌	大阪門下懇話会	理事長	就任	退任
平成二一・三・三一	中村日遊	大阪門下懇話会	理事長	就任	退任



団体参拝をはじめ、ご旅行のご相談と手配はJTBグループにお任せください。

ホームページ <http://www.jtb.co.jp>

『日蓮と法華の名宝』展 出品リスト

確定No.	展示テーマ	指定	作品名	制作年代	世紀	作者	員数	所蔵者	展示		
									前期	後期	備考
1	法華文化の展開	重文	紫紙金字法華経并開結 卷第八	平安時代	11		一卷 十巻のうち	本法寺	●		
2	法華文化の展開	重文	法華経并観普賢経 (藍紙本) 卷第一	平安時代 寛治元年(1087) 移点奥書	11		一卷 七巻のうち	立本寺		●	
3	法華文化の展開	重美	法華経并開結 卷第六・観普賢経	平安時代 久寿三年(1156)	12		二巻 十巻のうち	霊友会妙一記念館	●	●	
4	法華文化の展開	重文	一字宝塔法華経并観普賢経 卷第六	平安時代	12		一卷 九巻のうち	本満寺	●		
5	法華文化の展開	重文	法華経開結共 卷第一	平安・鎌倉時代	12-13		一卷 十巻のうち	本隆寺		●	
6	法華文化の展開	重文	法華経 卷第一 伏見天皇宸翰、紙背後深草天皇宸翰消息	鎌倉時代	14		一卷 八巻のうち	妙蓮寺	●		
7	法華文化の展開	重文	金字法華経 卷第五 卷首伏見天皇宸翰	鎌倉時代	14		一卷	妙顕寺		●	
8	法華文化の展開		法華経 卷第一 伝伏見天皇宸翰	室町時代	14-15		一卷 八巻のうち	本興寺	●		
9	法華文化の展開	重文	法華経 卷第六 紙背寛性法親王消息	鎌倉時代	14		一卷 八巻のうち	本禅寺		●	
10	法華文化の展開	重美	法華経 卷第一・第二・第六・第八	鎌倉時代 正応五年(1292) 刊記	13		四巻 八巻のうち	霊友会妙一記念館	●	●	
11	法華文化の展開	重文	法華玄論 卷第十	奈良-平安時代	8-9		一卷 十巻のうち	本隆寺	●		
12	法華文化の展開	重文	花園天皇宸翰消息	南北朝時代 暦応二年(1339)	14		一幅	本能寺	●	●	
13	法華文化の展開	重文	法華経要文和歌懐紙	南北朝時代 文和三年(1354)	14	光厳天皇宸翰他	一卷	妙満寺		●	
14	法華文化の展開	重文	法華経宝塔曼荼羅図 第一・第二・第三・第八幅	鎌倉時代	13		四幅 八幅のうち	立本寺	●	●	
15	法華文化の展開	重文	金銅蓮華唐草文透彫経箱	室町時代 天文二十四年銘(1555)	16		一合	要法寺	●	●	
16	法華文化の展開		蓮池輪宝沈金経箱	室町時代	16		一合	長源寺	●	●	
17	法華文化の展開	重文	法華経曼荼羅図 第三幅(譬喩品) 第五幅(薬草喩品) 第十一幅(見宝塔品) 第十七幅(不軽品・神力品)	鎌倉時代 嘉暦元-三年(1326-28)	14		四幅 二十一幅のうち	本法寺	●	●	
18	法華文化の展開	重美	仏涅槃図	室町時代	14	足利持氏が在判	一幅	妙立寺	●		
19	法華文化の展開		十六羅漢図 第六跋陀羅尊者・第十一囉怛羅尊者	南北朝時代	14		二幅 十六幅のうち	本満寺	●	●	
20	法華文化の展開		十六羅漢図	南北朝時代	14		四幅 十六幅のうち	本隆寺	●	●	
21	法華文化の展開	重美	釈迦三尊・羅漢図	南北朝-室町時代	14	詮問栄賀筆	二幅	京都国立博物館	●	●	
22	法華文化の展開		天台大師像	南宋時代	13	張思本筆	一幅	本圀寺	●		
23	法華文化の展開		出山釈迦図	元時代	14	伝張思恭筆	一幅	本圀寺		●	
24	法華文化の展開		華嚴説相図	朝鮮時代	16		一幅	本圀寺		●	
25	法華文化の展開		弥勒下生変相図	高麗時代 至元三十一年/忠烈王二十年(1294)	13	李晟筆	一幅	妙満寺	●	●	
26	法華文化の展開	重文	釈迦如来坐像	南北朝時代 延文三年(1358)	14	康俊作	一軀	妙圀寺	●	●	
27	法華文化の展開		釈迦如来坐像	鎌倉時代	12-13		一軀	本法寺	●	●	
28	法華文化の展開		聖観音立像	平安時代	12		一軀	瑞光寺	●	●	
29	法華文化の展開		釈迦・多宝如来坐像	南北朝時代 貞治五年(1366)	14	定慶作	二軀	本圀寺	●	●	
30	法華文化の展開		釈迦如来立像	鎌倉時代	13		一軀	本法寺	●	●	
31	法華文化の展開		九名神立像	南北朝時代	14		一軀	本圀寺	●	●	
32	法華文化の展開		三十番神像	室町時代	15		一幅	談山神社	●	●	
33	法華文化の展開		三十番神像	室町時代	15	日親賛	一幅	本法寺	●	●	
34	法華文化の展開		三十番神像	室町時代	15	日親賛	一幅	妙満寺	●		
35	法華文化の展開		三十番神像	桃山時代	16		一幅	頂妙寺		●	
36	法華文化の展開		三十番神像	桃山時代 天正四年(1576)	16	日重賛	一幅	本満寺	●		
37	法華文化の展開		三十番神像	桃山時代	16		一幅	本圀寺		●	
38	法華文化の展開		神道深秘伝	室町時代 永禄三年(1560)	16	吉田兼右筆	一卷	頂妙寺	●	●	
39	法華文化の展開		吉田兼右書状	室町時代	16		一幅	頂妙寺	●	●	
40	法華文化の展開		神道私鈔	江戸時代	17		一冊	頂妙寺		●	
41	法華文化の展開	重文	日弁起請文(「妙顕寺文書」のうち)	南北朝時代 暦応三年(1340)	14		一通 一巻のうち	妙顕寺	●		
42	法華文化の展開	重文	番神問答(「妙顕寺文書」のうち)	桃山-江戸時代	17		一卷	妙顕寺	●	●	
43	法華文化の展開		日蓮曼荼羅本尊	鎌倉時代 弘安元年(1278)	13		一幅	本圀寺	●		
44	法華文化の展開		日蓮曼荼羅本尊	鎌倉時代 弘安元年(1278)	13		一幅	本圀寺		●	
45	日蓮とその時代		日蓮曼荼羅本尊	鎌倉時代 建治元年(1275)	13		一幅	妙顕寺	●	●	
46	法華文化の展開		日蓮曼荼羅本尊	鎌倉時代 建治二年(1276)	13		一幅	本満寺	●	●	
47	法華文化の展開		日輪曼荼羅本尊	南北朝時代 康永三年(1344)	14		一幅	妙光寺	●		
48	法華文化の展開		日像曼荼羅本尊	南北朝時代	14		一幅	妙顕寺		●	
49	法華文化の展開	重文	十界勸請大曼荼羅(絵曼荼羅)	鎌倉時代	14		一幅	妙法華寺	●		
50	法華文化の展開		絵曼荼羅	南北朝時代 延文二年(1357)	14	大覚妙実署判	一幅	法華寺		●	
51	法華文化の展開		宝塔絵曼荼羅	鎌倉時代	14		一幅	本法寺	●		
52	法華文化の展開		宝塔絵曼荼羅(法華曼荼羅)	室町時代	14		一幅	奈良国立博物館		●	
53	法華文化の展開		釈迦三尊十羅刹女像	室町時代	15		一幅	立本寺	●	●	

団参のご用命は

大陸旅遊

時我及衆僧
俱出靈鷲山

インド・ネパールはもちろん中国シルクロード・スリランカ・ミャンマー・ラオス・ベトナム・ブータン・アンコール遺跡等へのご旅行手配もおまかせ下さい。

観光庁長官登録旅行業第1399号/日本旅行業協会正会員

株式会社 大陸旅遊

Tairiku Tours & Leisure co., LTD. TEL 03-3376-2511 FAX 03-3376-5280 <http://www.tairikyoyou.co.jp> mail: tlc@tairikyoyou.co.jp

●東京本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿5-5-6 第2ダイヤモンドビル2階

(5) 平成21年9月23日

確定No.	展示テーマ	指定	作品名	制作年代	世紀	作者	員数	所蔵者	展示		
									前期	後期	備考
54	法華文化の展開		本成寺本尊供養日記	鎌倉時代 永仁六年(1298)	13	日印筆	一卷	本成寺	●	●	
55	法華文化の展開		絵曼荼羅	室町時代	15-16		一幅	本成寺	●	●	
56	法華文化の展開		絵曼荼羅	桃山時代 永禄十一年(1568)	16	長谷川等伯	一幅	妙傳寺	●	●	
57	法華文化の展開		一遍首題	室町時代	16		一幅	大法寺	●	●	
58	法華文化の展開	重文	釈迦多宝如来像	室町時代 永禄七年(1564)	16	長谷川等伯筆	一幅	大法寺	●		
59	法華文化の展開	重文	鬼子母神十羅刹女像	室町時代 永禄七年(1564)	16	長谷川等伯筆	一幅	大法寺		●	
60	法華文化の展開	重文	三十番神像	室町時代 永禄九年(1566)	16	長谷川等伯筆	一幅	大法寺		●	
61	法華文化の展開	重文	日蓮像	室町時代 永禄七年(1564)	16	長谷川等伯筆	一幅	大法寺	●		
62	法華文化の展開		日経曼荼羅本尊及上臈同乳母追善供養像	江戸時代 慶長十七年(1612)	17		一幅	妙満寺	●	●	
63	日蓮とその時代	重文	日蓮像	鎌倉時代	14		一幅	妙法華寺		●	
64	日蓮とその時代		天台大師・伝教大師・日蓮聖人像	江戸時代	17	狩野永納筆 元政・慧明賛	三幅	妙顕寺	●		
65	日蓮とその時代		日蓮曼荼羅本尊	鎌倉時代 弘安三年(1280)	13		一幅	妙法華寺		●	
66	日蓮とその時代		日蓮曼荼羅本尊	鎌倉時代 文永十一年(1274)	13		一幅	妙満寺	●		
67	日蓮とその時代		日蓮曼荼羅本尊	鎌倉時代 建治元年(1275)	13		一幅	妙顕寺	●	●	
68	日蓮とその時代		五輪九字明秘密義釈	鎌倉時代 建長三年(1251)	13	日蓮筆	一帖	法華経寺	●	●	
69	日蓮とその時代		三教指帰注抄 卷上	平安-鎌倉時代	12-13		一帖	法華経寺	●	●	
70	日蓮とその時代	国宝	立正安国論	鎌倉時代 文永六年(1269)	13	日蓮筆	一卷	法華経寺	●	●	
71	日蓮とその時代		蓮池時絵三重箱	正保三年(1646)	17		一合	法華経寺	●	●	
72	日蓮とその時代		日蓮消息断簡	鎌倉時代	13		一合	頂妙寺	●	●	
73	日蓮とその時代	重文	神国王書 天卷	鎌倉時代	13	日蓮筆	一卷	妙顕寺	●		
74	日蓮とその時代	重文	孟蘭盆御書	鎌倉時代	13	日蓮筆	一卷	妙覚寺		●	
75	日蓮とその時代		一代五時図	鎌倉時代	13	日蓮筆	一卷	本圀寺	●		
76	日蓮とその時代		守護国家論 奥書後土御門天皇宸翰	室町時代	15		一卷	長源寺		●	
77	日蓮とその時代		日蓮坐像	鎌倉時代	13-14		一軀	本満寺	●	●	
78	日蓮とその時代		日蓮坐像	鎌倉-南北朝時代	14	院興作	一軀	妙覚寺	●	●	
79	日蓮とその時代		日蓮坐像	鎌倉時代 元弘元年(1331)	14		一軀	法華寺	●	●	
80	日蓮とその時代		日蓮坐像	室町時代 文明五年(1473)	15		一軀	十林寺	●	●	
81	日蓮とその時代		日蓮聖人註画讃 巻第一・第四・第五	室町時代 天文五年(1536)	16	窪田統泰筆	三巻 五巻のうち	本圀寺	●	●	
82	日蓮とその時代		日蓮上人龍之口法難図	江戸時代 寛文十三年(1673)	17	狩野探幽筆	一幅	本法寺		●	
83	日蓮とその時代		日蓮入滅図	江戸時代	18		一幅	ハーバード大学 燕京図書館	●	●	
84	日蓮とその時代	重文	日朗書状(「妙顕寺文書」のうち)	鎌倉-南北朝時代	14		一幅	妙顕寺	●		
85	京都開教と西国への展開	重文	日朗遺骨分与状并一味同心連署起請文 (「妙顕寺文書」のうち)	鎌倉時代 元応二年(1320)	14		一卷	妙顕寺		●	
86	京都開教と西国への展開	重文	日像書状(「妙顕寺文書」のうち)	鎌倉時代	14		一通 一卷のうち	妙顕寺	●		
87	京都開教と西国への展開	重文	日像置文(「妙顕寺文書」のうち)	鎌倉時代	14		一通 一卷のうち	妙顕寺		●	
88	京都開教と西国への展開	重文	後醍醐天皇諭旨(「妙顕寺文書」のうち)	南北朝時代 建武元年(1334)	14		一幅	妙顕寺	●		
89	京都開教と西国への展開	重文	後光厳天皇諭旨(「妙顕寺文書」のうち)	南北朝時代 延文二年(1357)	14		一幅	妙顕寺		●	
90	京都開教と西国への展開	重文	足利直義御判御教書(「妙顕寺文書」のうち)	南北朝時代 建武三年(1336)	14		一通 一卷のうち	妙顕寺	●		
91	京都開教と西国への展開	重文	足利義詮御判御教書(「妙顕寺文書」のうち)	南北朝時代 貞和六年(1350)	14		一通 一卷のうち	妙顕寺		●	
92	京都開教と西国への展開		日像像	南北朝時代	14	大覚妙実在判	一幅	妙顕寺	●	●	
93	京都開教と西国への展開		白地蓮牡丹唐草文様横被	南北朝時代	14	伝日像所用	一肩	妙顕寺	●	●	
94	京都開教と西国への展開	重文	日輪書状(「妙顕寺文書」のうち)	鎌倉時代	14		一通 一卷のうち	妙顕寺	●	●	
95	京都開教と西国への展開		伝釈迦如来立像(阿弥陀如来立像)	鎌倉時代	13		一軀	南真経寺	●	●	
96	京都開教と西国への展開		日像坐像	鎌倉-南北朝時代	14		一軀	北真経寺	●	●	
97	京都開教と西国への展開		日像曼荼羅本尊(「御霊宝」のうち)	南北朝時代 元徳四年(1332)	14		一幅	南真経寺・北真経寺	●	●	
98	京都開教と西国への展開		秘蔵集(「御霊宝」のうち)	鎌倉時代	13-14	日像筆	三帖	南真経寺・北真経寺	●	●	
99	京都開教と西国への展開		伝日朗像(「御霊宝」のうち)	南北朝時代	14		一幅	南真経寺・北真経寺	●	●	
100	京都開教と西国への展開		伝日蓮像(「御霊宝」のうち)	南北朝時代	14		一幅	南真経寺・北真経寺	●	●	
101	京都開教と西国への展開	重文	法華経 紙背尊性法親王消息(「御霊宝」のうち)	鎌倉時代	13		十巻	南真経寺・北真経寺	●	●	
102	京都開教と西国への展開		板倉勝重判物(「御霊宝」のうち)	江戸時代 慶長十年(1605)	17		一幅	南真経寺・北真経寺	●	●	
103	京都開教と西国への展開		鶏冠井両真経寺法式(「御霊宝」のうち)	江戸時代 寛文元年(1661)	17		一幅	南真経寺・北真経寺	●	●	
104	京都開教と西国への展開		日像坐像	室町-江戸時代	16-17		一軀	妙泉寺	●	●	
105	京都開教と西国への展開		大覚妙実坐像	室町-江戸時代	16-17		一軀	妙光寺	●	●	
106	京都開教と西国への展開	重文	洛中洛外図屏風(歴博甲本)	室町時代	16		六曲一双	国立歴史民俗 博物館	●		10/10- 10/25
107	京都開教と西国への展開		洛中洛外図屏風	江戸時代	17		六曲一双	大阪市立美術館		●	10/27- 11/23
108	日蓮とその時代		宝塔	江戸時代	17		一基	京都国立博物館	●	●	
109	京都開教と西国への展開		大覚妙実曼荼羅本尊	南北朝時代 延文四年(1359)	14		一幅	妙顕寺	●	●	
110	京都開教と西国への展開	重文	妙顕寺禁制(「妙顕寺文書」のうち)	南北朝時代 暦成四年(1341)	14	日像筆	一通 一卷のうち	妙顕寺	●		
111	京都開教と西国への展開	重文	日像・大覚妙実讃状(「妙顕寺文書」のうち)	南北朝時代 康永元年(1342) 延文元年(1356)	14		一幅	妙顕寺		●	
112	京都開教と西国への展開	重文	後小松天皇宸翰消息	室町時代 応永二十年(1413)	14		二幅	妙顕寺	●	●	
113	京都開教と西国への展開		日乗像	室町~桃山時代	16	長谷川等伯筆	一幅	妙成寺	●		
114	京都開教と西国への展開		日蓮像	桃山時代 天正十七年(1589)	16	伝長谷川等伯筆	一幅	妙成寺		●	
115	京都開教と西国への展開		得田版法華経板木 巻第八巻末後跋	室町時代 応永二十二年(1415)	15	願主得田章光	一枚 六十四枚のうち	妙成寺	●	●	
116	京都開教と西国への展開		絵曼荼羅	南北朝時代 応安元年(1368)	14	朗源署判	一幅	本境寺	●		
117	京都開教と西国への展開		絵曼荼羅	南北朝時代	14	朗源署判	一幅	本境寺		●	
118	京都開教と西国への展開		餓鬼腹茶入	南宋-元時代	14		一口	本圀寺	●	●	
119	京都開教と西国への展開		本圀寺柿本社額字原字	江戸時代 文政十二年(1829)	19	一条忠良筆	二幅	本圀寺	●	●	
120	京都開教と西国への展開		加藤清正像	江戸時代	18-19		一幅	本圀寺	●	●	
121	京都開教と西国への展開		大覚妙実書状	南北朝時代	14		一幅	蓮昌寺	●	●	
122	京都開教と西国への展開		市村隼人佐寄進状	室町時代 宝徳二年(1450)	15		一通	岡山県立博物館		●	
123	京都開教と西国への展開		日禪等一遍首題本尊	桃山時代 天正十八年(1590)	16		一幅		●	●	
124	京都開教と西国への展開		日親像	室町時代	15	狩野正信筆	一幅	本法寺	●	●	
125	京都開教と西国への展開		立正治国論	室町時代 永享十二年(1440)	15	日親筆	一卷	本法寺	●	●	
126	京都開教と西国への展開		日親德行図	江戸時代	17	片山尚景筆	一卷	本法寺	●	●	
127	京都受難の時代		山門決議関連文書 (「田中穰氏旧蔵古文書」のうち) (1)山門三院執行代連署状(2)山門三院大衆議 案(3)山門三院大衆議案(4)山門三院大衆議 案(5)山門三院大衆議案(6)山門三院大衆 議案(7)寺門三院大衆議案	室町時代 天文五年(1536)	16		一卷	国立歴史民俗 博物館	●	●	
128	京都受難の時代		本国寺跡出土品	鎌倉-室町時代	14-16		鬼瓦：一個 墨書土師器皿：一枚 磬：一面 土師器皿：三九枚	京都市考古 資料館	●	●	
129	京都受難の時代		本能寺跡出土品	室町時代	16		鬼瓦：一個 軒丸瓦：一個 卒塔婆：七本 軸端：一個	京都市	●	●	

確定No.	展示テーマ	指定	作品名	制作年代	世紀	作者	員数	所蔵者	展示		
									前期	後期	備考
130	京都受難の時代		瓦経 本能寺跡南出土	室町時代	16		一点	京都市考古資料館	●	●	
131	京都受難の時代		鉄水盤	桃山時代 天正五年(1577)	16	与二郎作	一口	本能寺	●	●	
132	京都受難の時代		弘決外典抄	平安時代	12		二帖	久遠寺	●	●	
133	京都受難の時代		三好長慶書状	室町時代	16		一幅	頂妙寺	●	●	
134	京都受難の時代		斎藤基速像	室町時代 永禄三年(1560)	16	惟高妙安賛	一幅	頂妙寺	●	●	
135	京都受難の時代		日珥像	江戸時代	18-19		一幅	本法寺	●	●	
136	京都受難の時代		三好義賢像	室町時代	16		一幅	妙國寺	●	●	
137	京都受難の時代		日珥僧正伝	江戸時代 文化十二年(1815)	19	日遂筆	一卷	頂妙寺	●	●	
138	京都受難の時代		日珥書状	室町時代 永禄四年(1561)	16		一幅	妙國寺	●	●	
139	京都受難の時代		曜変天目 油屋天目	金時代	12-13		一口	徳川美術館	●	●	
140	京都受難の時代	重文	信長公記 卷第十二	江戸時代	17	太田牛一筆	一冊 十五冊のうち	建勲神社	●	●	
141	京都受難の時代		己行記	室町-桃山時代	16	日珥筆	一冊	妙國寺	●	●	
142	京都受難の時代		聖誉貞安書状 (「西福寺文書」のうち)	桃山時代 天正七年(1579)	16		一卷	西福寺	●	●	
143	京都受難の時代		紫地亀甲に裏菊文様五条袈裟	桃山時代	16	伝日珥所用	一肩	頂妙寺	●	●	
144	京都受難の時代		前田玄判判物	桃山時代 天正八年(1580)	16		三巻	頂妙寺	●	●	
145	京都受難の時代		京都諸寺定条々(「京都十六本山会合文書」のうち)	桃山時代 天正七年(1579)	16		一通	頂妙寺	●	●	
146	京都受難の時代		京都十六本山会合文書箱	桃山-江戸時代	16-17		一合	頂妙寺	●	●	
147	京都受難の時代		日奥曼荼羅本尊	江戸時代 寛永三年(1626)	17		一幅	幸福寺	●	●	
148	京都受難の時代		妙正物語	江戸時代 寛文二年(1662)刊	17		二冊	京大文学研究科	●	●	
149	京都受難の時代		日禪像	桃山時代 文禄五年(1596)	16	狩野宗秀筆	一幅	京都国立博物館	●	●	
150	京都受難の時代		日禪書状	桃山時代	16		一幅	岡山県立博物館	●		
151	京都受難の時代		日禪書状	桃山時代	16		一幅	岡山県立博物館		●	
152	京都受難の時代	重文	金銅宝塔	南北朝時代 応安三年(1370)	14	寛性作	一基	本法寺	●	●	
153	復興と近世文化の開花		日淵自賛寿像	慶長十二年(1607)	17		一幅	寂光寺	●		
154	復興と近世文化の開花		本因坊算砂日海像	江戸時代	17		一幅	寂光寺		●	
155	復興と近世文化の開花		元政自賛寿像	江戸時代	17		一幅	瑞光寺	●	●	
156	復興と近世文化の開花		定家卿遠忌和歌	江戸時代 寛永十八年(1641)	17		一冊	瑞光寺	●	●	
157	復興と近世文化の開花		身延のみのちの記断簡	江戸時代 万治二年(1659)	17	元政筆	一幅	瑞光寺	●	●	
158	復興と近世文化の開花		片玉集	江戸時代	17	元政筆	一冊	瑞光寺	●		
159	復興と近世文化の開花		建礼門院右京大夫集	江戸時代	17	元政筆	二冊	瑞光寺		●	
160	復興と近世文化の開花	重文	立正安国論	江戸時代 元和五年(1619)	17	本阿弥光悦筆	一卷	妙蓮寺	●	●	
161	復興と近世文化の開花	重文	始開仏乘義	江戸時代 元和五年(1619)	17	本阿弥光悦筆	一卷	妙蓮寺	●		
162	復興と近世文化の開花	重文	法華題目抄	江戸時代	17	本阿弥光悦筆	一卷	本法寺		●	
163	復興と近世文化の開花	国宝	書卷(本能寺切)	平安時代	11	藤原行成筆	一卷	本能寺	●		
164	復興と近世文化の開花	重文	鶴下絵三十六歌仙和歌巻	江戸時代	17	本阿弥光悦書 俵屋宗達画	一卷	京都国立博物館		●	
165	復興と近世文化の開花	重文	赤樂茶碗 加賀光悦	江戸時代	17	本阿弥光悦作	一口	相国寺	●	●	
166	復興と近世文化の開花	重文	黒樂茶碗 銘「時雨」	江戸時代	17	本阿弥光悦作	一口	名古屋市博物館	●	●	
167	復興と近世文化の開花		赤樂茶碗 銘「鶴」	江戸時代	17	樂道入作	一口	三井記念美術館	●	●	
168	復興と近世文化の開花		黒樂茶碗 銘「残雪」	江戸時代	17	樂道入作	一口	樂美術館	●	●	
169	復興と近世文化の開花		本阿弥光悦消息	江戸時代	17		一幅	京都国立博物館	●	●	
170	復興と近世文化の開花		黒樂茶碗 銘「亀毛」	江戸時代	17-18	樂宗入作	一口	樂美術館	●	●	
171	復興と近世文化の開花		色絵氷裂文角皿	江戸時代	17-18	尾形乾山作	五枚	京都国立博物館	●	●	
172	復興と近世文化の開花		色絵花唐草文水注	江戸時代	17-18	尾形乾山作	一口	妙法寺	●	●	
173	復興と近世文化の開花		五彩花卉雲龍鳳凰文尊式瓶 五彩蓮華唐草雲龍文角香炉	明時代	16-17		一対一合	本能寺	●	●	
174	復興と近世文化の開花		瓢箪茶入 銘「玉津島」	南宋-元時代	13-14		一口	徳川美術館	●	●	
175	復興と近世文化の開花		茶屋四郎次郎坐像	江戸時代	17		一軀	本能寺	●	●	
176	復興と近世文化の開花	重文	異国渡海御朱印帳	江戸時代	17	以心崇伝筆	一冊	南禅寺金地院	●	●	
177	復興と近世文化の開花		蓮紙織画	朝鮮時代	19		一幅	頂妙寺	●	●	
178	復興と近世文化の開花		刀装具製作関係遺物 同志社大学今出川校地遺跡出土 (図書館地点出土) 目貫・小柄型 4個 (寒梅館地点出土) 金薄板片 2片 青銅素材 1本 砥石 1個 刀子鏝 1個 埴塙 4口	江戸時代	17-18	後藤家工房か	一括	同志社大学歴史資料館	●	●	
179	復興と近世文化の開花	重美	後藤祐乗像	桃山時代	16		一幅		●		
180	復興と近世文化の開花		獅子図三所物	室町時代	15	銘：紋祐乗/光美(花押)	一揃	徳川美術館	●	●	
181	復興と近世文化の開花	重文	刀	南北朝時代	14	金象嵌銘：本多美濃守所持/義弘本阿(花押)	一口	京都国立博物館	●	●	
182	復興と近世文化の開花	重文	金梨地木瓜紋蒔絵糸巻太刀	江戸時代 承応三年(1654)	17	銘：出羽大掾藤原国路 御大工跡阿弥/祇園社御太刀 承応三年甲午年九月吉日	一口	八坂神社	●	●	
183	復興と近世文化の開花	国宝	舟橋蒔絵硯箱	江戸時代	17	本阿弥光悦作	一合	東京国立博物館	●		
184	復興と近世文化の開花	重文	舞臺蒔絵硯箱	江戸時代	17	本阿弥光悦作	一合	東京国立博物館		●	
185	復興と近世文化の開花	重文	花唐草螺鈿硯箱	江戸時代	17	本阿弥光悦作	一合	本法寺	●	●	
186	復興と近世文化の開花		青花芙蓉手蜥蜴文大皿	明時代	16-17		一枚	本法寺	●	●	
187	復興と近世文化の開花	重美	古今和歌集卷十八断簡 (本阿弥切)	平安時代	11-12		一幅	京都国立博物館		●	
188	復興と近世文化の開花		蓮池蒔絵舍利厨子	寛文十二年(1672)	17	五十嵐道甫 後藤程乗作	一基	東京国立博物館	●	●	
189	復興と近世文化の開花	国宝	蓮池水禽図	江戸時代	17	俵屋宗達筆	一幅	京都国立博物館		●	
190	復興と近世文化の開花	重文	牛図	江戸時代	17	俵屋宗達筆	二幅	頂妙寺	●	●	
191	復興と近世文化の開花	重文	太公望図屏風	江戸時代	17-18	尾形光琳筆	二曲一雙	京都国立博物館	●	●	
192	復興と近世文化の開花	重文	八橋図	江戸時代	17	尾形乾山筆	一幅	文化庁	●		
193	復興と近世文化の開花		観世音菩薩像	江戸時代 文化十二年(1815)	19	酒井抱一筆	一幅	妙顯寺	●	●	
194	復興と近世文化の開花	重文	松桜図襖	桃山時代	16-17	長谷川派	四面	妙蓮寺	●	●	
195	復興と近世文化の開花		厩図屏風	桃山時代	16-17		二曲一雙	本圓寺	●	●	
196	復興と近世文化の開花		十六羅漢図	室町時代 天文二十年(1551)	16	狩野元信落款	四幅	本法寺	●	●	
197	復興と近世文化の開花		樓閣山水図屏風	江戸時代	17	狩野山楽筆	六曲一雙	妙顯寺		●	
198	復興と近世文化の開花		唐獅子図屏風	桃山時代	16-17	狩野山楽筆	四曲一雙	本法寺	●	●	
199	復興と近世文化の開花		四季竹図屏風	江戸時代	17	伝狩野山楽筆	六曲一雙	寂光寺	●		
200	復興と近世文化の開花		諸寺勸進帳(「京都十六本山会合文書」のうち)	桃山時代 天正四年(1576)	16		一冊	頂妙寺	●	●	
201	復興と近世文化の開花		日鏡像	桃山時代	16	元信印	一幅	本隆寺			10/10-10/26
202	復興と近世文化の開花		日澄像	室町時代	16	狩野派	一幅	本法寺			10/27-11/8
203	復興と近世文化の開花		日淳像	室町時代	16	狩野派	一幅	本法寺			11/10-11/23

☆展示期間前期は10/10～11/3、後期は11/5～11/23です。

平成二十一年は 『立正安国論』奏進七五〇年 の年です



(平成二十一年六月現在)

日蓮宗宗務院

管 長	酒井 日慈	財務部長	駒野 教源
宗務総長	小松 淨慎	宗務総長室長	長 亮行
伝道局長	川名 義顕	現代宗教研究所長	田澤 元泰
総務局長	張田 珠潮	参 与	堀江 宏正
伝道部長	齊藤 憲一	参 与	浅井 玄裕
教務部長	酒井 光雄	日蓮宗新聞社社長	垣本 孝精
総務部長	藤岡 暎邦		

〒146-8544 東京都大田区池上一―三二―一五
電話 〇三(三七五)七二八一
FAX 〇三(三七五)七二八六

法華宗(本門流)宗務院

管 長	大塚 日正
宗務総長	原 井 慈 鳳
教学部長	桃 井 晋 城
庶務部長	蓮 池 光 洋
布教部長	矢 吹 慈 英
財務部長	加 藤 信 淨
宗務副総長	渡 辺 明 博

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二―一九―一
電話 〇三(五六一)四三〇五五(代)
FAX 〇三(五六一)四三〇五六

顕本法華宗宗務院

管 長	中 村 日 玄
宗務総長	藤 崎 広 学
宗務次長	朝 倉 俊 幸
財務部長	藤 崎 行 学
教務部長	早 川 義 正
布教部長	吉 永 義 康
庶務部長	阿 曾 久 成
社会部長	飯 澤 道 安

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
電話 〇七五(七九二)七二七一
FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長	椿 澤 日 壽
宗務総長	佐 古 弘 文
総務部長	門 谷 光 瑞
教学部長	布 施 義 高
教化部長	佐 古 大 弦
財務部長	金 原 孝 宜
宗務参事	今 井 満 良

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五―三三―一六
電話 〇三(三三九)八七二九〇
FAX 〇三(三三五)七六〇二二

本門佛立宗宗務本庁

講 有	小 山 日 誠
講 尊	梶 本 日 裔
講 尊	野 崎 日 丞
宗務総長	佐 藤 日 鳳
宗務副総長	梅 田 日 芳
宗務副総長	嶋 田 幾 雄

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町二―〇番地
電話 〇七五(四六一)一一六六(代)
FAX 〇七五(四六四)五五九九

日蓮本宗宗務院

管 長	嘉 儀 日 有
宗務総長	原 光 承
総務部長	長 崎 秀 要
財務部長	原 田 智 光
教務部長	原 光 明

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ノ法皇町四四八
電話 〇七五(七七二)三三三九〇
FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務院

管 長	田 中 日 生
宗務総長	竹 内 正 道
総務部長	上 田 浩 岳
教学部長	井 上 隆 啓
教化部長	木 村 完 祥
財務部長	堀 立 智 泰
社会部長	安 立 修 学
主 事	山 口 英 泰
	笹 木 研 吾

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ノ紋屋町三三〇
電話 〇七五(四四二)五七六二
FAX 〇七五(四四二)五六六六

本門法華宗宗務院

管 長	松 下 日 肆
宗務総長	藤 井 日 靖
総務部長	吉 村 日 彦
宗務部長	増 田 隆 雄
財務部長	土 畑 信 教
教務部長	音 羽 隆 全
庶務部長	山 田 岳 隆

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東ノ妙蓮寺前町八七五
妙 蓮 寺 内
電話 〇七五(四五二)三五二七
FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

賽 主	田 中 壮 谷
理事長代務	田 中 勇 一 郎
門連常任理事	本 間 直 暉
門連理事	仲 南 良 夫
門連理事	石 見 哲 三
編集委員	森 山 真 治

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一―一九―一八
電話 〇三(三六五)七二二(代)
FAX 〇三(三六五)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

京都日蓮聖人門下連合会

会 長	永 田 日 洵
副 会 長	松 下 日 肆
理 事 長	藤 井 照 源
副 理 事 長	石 崎 光 教

京門連事務局
〒606-8376 京都市左京区二条通川端東大菊町九六
頂妙寺布教会館内 日蓮宗京都府第一宗務所内
電話 〇七五(七六二)二四一一
FAX 〇七五(七五二)九三三八

日本山妙法寺大僧伽

首 座	吉 田 行 典
責任役員	酒 井 天 信
同	今 井 行 康
同	池 田 行 朗
同	二 宮 和 嘉
同	木 津 博 充
同	川 岸 行 孝

日本山妙法寺大僧伽事務局
〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七
電話 〇三(三四六)九三六三
FAX 〇三(三四六)九三六七

<p>日蓮宗総本山 身延山久遠寺</p> <p>法主 内野日総 総務 井上瑞雄</p> <p>〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延 電話 〇五五六(六二二)一〇一一 FAX 〇五五六(六二二)一〇九四</p>	<p>日蓮宗大本山 池上本門寺</p> <p>貴首 酒井日慈 執事 野坂法雄 役員一同</p> <p>〒146-8576 東京都大田区池上一一―一 電話 〇三(三七五二)二二二二 FAX 〇三(三七五二)三三五〇</p>	<p>法華宗(本門流)大本山 光長寺</p> <p>貴首 石田日信 執事 久保木学洋 役員一同</p> <p>〒410-0011 静岡県岡宮一〇五五 電話 〇五五(九二二)〇四八四 FAX 〇五五(九二二)〇七三六</p>	<p>顕本法華宗総本山 妙満寺</p> <p>貴首 中村日玄 執事 古瀬久馨 執事 山中晃道 執事 湯村英司 執事 小川正義</p> <p>〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一 電話 〇七五(七九二)七二七一 FAX 〇七五(七九二)七二六七</p>
<p>法華宗(陣門流)総本山 本成寺</p> <p>貴首 椿澤日壽 執事 栗田孝之 執事 笹原壯玄 執事 鈴木公正 執事 近藤正文 執事 五十嵐義昭</p> <p>〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一―一二〇 電話 〇二五六(三二二)〇〇〇八</p>	<p>法華宗(真門流)総本山 本隆寺</p> <p>貴主 田中日生 執事 足立真正 執事 本多信正 書記 永岡悠希 書記 笹木研吾</p> <p>〒602-8447 京都市上京区智恵院通り五辻上ル紋屋町 電話 〇七五(四四一)五七六二 FAX 〇七五(四四一)五六六六</p>	<p>本門法華宗大本山 妙蓮寺</p> <p>貴首 松下日肆 執事 石崎光教 役員一同</p> <p>〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五 電話 〇七五(四五二)三五二七 FAX 〇七五(四五二)三五九七</p>	<p>多寶富士山 日蓮本山 本山要法寺</p> <p>貴首 嘉儀日有 執事 丹治日遠 執事 原長光承 執事 原田智要 執事 原田智明</p> <p>〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八 電話 〇七五(七七二)三三九〇 FAX 〇七五(七七二)五九一四</p>
<p>本門佛立宗本山 宥清寺</p> <p>住職 小山日誠 執事 中西清乘 事務局長 伊藤隆之</p> <p>〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ノ鼻町一〇五―一 電話 〇七五(四六三)四六二〇(代) FAX 〇七五(四六三)四六五一</p>	<p>日蓮宗大本山 日蓮聖人出家得度の霊跡 清澄寺</p> <p>別当 中條令紹 執事 佐々木光道</p> <p>〒299-5505 千葉県鴨川市清澄三二二―一 電話 〇四(七〇九四)〇五二五 FAX 〇四(七〇九四)〇五二七 団参には是非、研修会館をご利用ください。 一六〇名様まで可。</p>	<p>京都八本山会</p> <p>大本山 妙顕寺 貴首 南條日慈 大本山 本圓寺 貴首 吉田日厚 本山 頂妙寺 貴首 永田日洵 本山 妙覚寺 貴首 頂岳日選 本山 本満寺 貴首 伊丹日章 本山 本法寺 貴首 大塚日行 本山 立本寺 貴首 上田日瑞 本山 妙傳寺 貴首 野々垣日祐</p>	<p>日蓮宗霊跡本山 比企谷 妙本寺</p> <p>貴首 早水日秀 執事 立野正泰 山務役員一同</p> <p>〒248-0007 鎌倉市大町一―一五―一 電話 〇四六七(二二二)〇七七七 FAX 〇四六七(二二五)六九六七</p>
<p>日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 富士山法華本門寺根源</p> <p>貴首 本間日諄 執事 井出教道 執事 井野上正文 参 与 藤先博明</p> <p>〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五 電話 〇五四四(五八)一〇〇四 FAX 〇五四四(五九)〇三〇三</p>	<p>日蓮宗大本山 中山法華経寺</p> <p>貴首 新井日湛 参 与 田代浩敬 同 渡辺行俊 同 植田観樹 同 吉田文堯 同 布施慈範</p> <p>〒272-0813 千葉県市川市中山二―一〇―一 電話 〇四七(三三四)三三三三 FAX 〇四七(三三四)一七九六</p>	<p>やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺</p> <p>山主 嶋田日新</p> <p>〒166-0013 東京都杉並区堀之内三―四八―八 電話 〇三(三三三)六二四一 FAX 〇三(三三三)五〇〇七</p>	<p>日蓮宗本山 頂妙寺</p> <p>貴首 永田信遠 参 与 安藤隆行 同 藤井照源 同 藤井照源 同 川合陽雄</p> <p>〒606-8376 京都市左京区仁王通川端東入大菊町九六 電話 〇七五(七七二)〇五六二 FAX 〇七五(七五二)一〇〇四</p>
<p>日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 藻原寺</p> <p>貴首 持田日勇 執事 増田寶泉 執事 富永一道 役員一同</p> <p>〒297-0026 千葉県茂原市茂原一―二〇―一 電話 〇四七五(二二二)三二五三 FAX 〇四七五(二二二)一一七三</p>	<p>宗祖御降誕霊場 日蓮宗大本山 誕生寺</p> <p>宗祖御降誕八百年に向かつての祈り</p> <p>貴首 石川日命 執事 村田教清</p> <p>〒299-5501 千葉県鴨川市小湊一八三 電話 〇四(七〇九五)二六二一 FAX 〇四(七〇九五)二〇五五</p>	<p>徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 瑞輪寺</p> <p>除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安</p> <p>貴首 井上日修</p> <p>〒110-0001 東京都台東区谷中四―二―一五 電話 〇三(三三二)四三三三 FAX 〇三(三三二)七〇三三</p>	<p>「日蓮聖人展」 紅葉の都 京都へ いまふたたび京都町衆文化が華ひらく</p> <p>(平成二十一年八月現在)</p>



(平成二十一年八月現在)

十六本山紹介と団参受入れ体制 アンケートおよび各本山行事予定

アンケートQ&A

- 一、団参御開帳の受入れ
できる・できない・日に
よる
- 二、団参御開帳予約が必
要・不必要
- 三、御首題御朱印が↓でき
る・できない・事前書き紙
心持ち
- 四、御開帳料一人↓何円・
心持ち
- 五、御朱印代一押↓何円・
心持ち
- 六、宝物館↓ある・ない
- 七、拝観料一人↓何円・心
持ち・なし
- 八、宝物館展示予定↓あ
る・ない

妙覚寺 (日蓮宗)

歴史 日像聖人によって創建された「妙覚寺」の流れを汲み、永和四年(一二七八年)に開創。二十一世日興上人は、法華信者以外からは施しを受けず、施しもしないという不受不施派の開祖として知られている。

見どころ 予約をすれば、本堂でのお焼香、そして庭園や日蓮聖人ゆかりの「華芳塔」の拝観が可能。一面を覆う杉苔の上に楓の木がゆったり植えられた前庭は、どの季節もはつとすほど美しい眺めを見せてくれる。お茶とお菓子をいただいて、安らかな時が過ごせる場所。

★上京区新町通鞍馬口下ル下歩十分

妙頭寺 (日蓮宗)

歴史 日蓮大聖人に帝都開教を委嘱された日像聖人が、元亨元年(一二三二年)に創建。建武元年(一二三四年)には、後醍醐天皇の御諭旨により、勅願寺となった。

見どころ 境内中央の本堂は、御所の紫宸殿と同様に部戸が使われ、堂々とした雰囲気。また希望すれば庭園も拝観可能。白砂にもみじと桜を配した客殿前庭、老松の名木が存在感を放つ書院前庭。どちらも四季折々の優美な表情が、見る者の心を奪う。また孟宗竹を使った坪庭の清らかな風情も格別。

★上京区寺之内通新町西入ル妙頭寺前町五一四 ㊦〇七五(四一四)〇八〇八 九時〜十六時 境内自由、庭園拝観五百円(庭園拝観は事前連絡がベター) Pあり 市バス「堀川寺ノ内」バス停から徒歩五分 地下鉄烏丸線「今出川」駅から徒歩十分

本法寺 (日蓮宗)

歴史 將軍・足利義教の迫害で、焼鍋を頭に被せられたことから「なべかぶり」の名で知られる日親上人が、永享八年(一四三六年)に開創。本阿弥光悦の曾祖父が日親上人に帰依して以来、本阿弥家と関係深い菩提寺。

見どころ 巴(渦巻きのような模様)を表す鳥や、流れる滝を表す石組みを配した「巴の庭」。本阿弥光悦が作庭した豊かな芸術性にあふれたこの庭は、法華経の教えを表現しているという。また宝物館では、長谷川等伯が描いた「佛涅槃図」(重要文化財)をはじめ多彩な寺宝を公開。

★上京区小川通寺之内上ル本法寺前町六一七 ㊦〇七五(四四一)七九九七 十時〜十六時 境内自由、庭園・宝物館拝観五百円 Pあり 市バス「堀川寺ノ内」バス停から徒歩三分 地下鉄烏丸線「鞍馬口」駅から徒歩十分

妙蓮寺 (本門法華宗)

歴史 日像聖人によって永仁二年(一二九四年)に創建された寺院。鎌倉から京都へ上られた聖人へ、深く帰依した造酒屋・柳屋仲興の屋敷内に建立された庵が発祥。

見どころ 豊臣秀吉が寄進した名石「臥牛石」を中央に配した「十六羅漢石庭」は、桂離宮造園時に指示を行われた「妙蓮寺」の僧、玉淵坊日首上人の作。穏やかな風情の枯山水庭園を、書院に座って心静かに鑑賞できる。また予約をすれば、収蔵庫も拝観可。展示物の内容については要問い合わせ。

★上京区寺之内通大宮東入ル妙蓮寺前町八七五 ㊦〇七五(四五二)三三二七 十時〜十六時 水・年末年始休 境内自由、方丈・庭園拝観五百円、収蔵庫拝観は追加三百円(要予約) Pあり 市バス「堀川寺ノ内」バス停から徒歩三分 地下鉄烏丸線「今出川」駅から徒歩十四分

本隆寺 (法華宗真門流)

歴史 長享二年(一四八八年)に日真上人によって開創された寺院。江戸時代、二度の大火の中でも本堂と祖師堂が焼失を免れたため、「焼けずの寺」と異名が付く。

見どころ 明暦三年(一六五七年)再建当時の姿を残し、壮大な雰囲気の本堂は京都十六本山で最古のもの。本堂前には大火の時、堂内に祀った鬼子母神が人となり、井戸から水を汲んで防火に勤めたと伝説が残る「千代の井戸」も現存。鬼子母神は今も信仰を集め、その姿を映した火ふせのお札も授与している。

★上京区智恵光院通五辻上ル紋屋町三三〇 ㊦〇七五(四四一)五七六一 六時〜十八時 境内自由 Pあり 市バス「今出川浄福寺」バス停から徒歩三分 地下鉄烏丸線「今出川」駅から徒歩十六分

妙傳寺 (日蓮宗)

歴史 身延山への参詣が遠い関西以西の檀信徒、彼らのため

夜法要、13日(火)午前11時〜御会式法要、14日(水)御会式後片付け、11月12日(木)御開山式※各日団参開帳中止

★10月11日(日)御会式準備、12日(月)17時〜万燈会速

★10月11日(日)御会式準備、12日(月)17時〜万燈会速

祝 『立正安国論』奏進750年記念特別展 「日蓮と法華の名宝－華ひらく京都町衆文化－」

旅のお世話は日本旅行へお申しつけ下さい



国土交通大臣登録一般旅行業第2号
http://www.nta.co.jp

お問合せは
最寄の日本旅行へ

銀座法人営業本部 TEL 03-5565-5553(代)

に身延山を彷彿させるような寺として、日意上人が文明九年(一四七七年)に開創。

見どころ 御真骨堂では、身

延山から日意上人が持ち帰られた日蓮大聖人の御真骨を大切に祀っている。本堂では身延山の七面大明神と同じ木を使い、姿も同じにつくった御神体を安置。そういったことから「妙傳寺」は「西身延」「関西身延」とも呼ばれている。

★左京区東大路二条下北門前四八一 Ⅷ〇七五(七七二)

二〇八八 本堂・御真骨堂拝観は寺務所に相談 Pなし 市バス「東山二条」バス停下車すぐ地下鉄東西線「東山」駅から徒歩十分

一、できる 二、必要 三、できる・(人数によつては)事前書き紙 四、千円 五、三百円から心持ち 六、ない 八、ない

頂妙寺 (日蓮宗)

★10月19日(月) 14時〜七面天例祭、11月13日(金) 14時〜御会式、19日(木) 14時〜七面天例祭

歴史 下総(現千葉県)の法華経寺から上洛された日祝上人が、文明五年(一四七三年)に開創。寺院前を通る仁王門通の名は「頂妙寺」の仁王門から付けられたという。

見どころ 安土宗論で法難を受けた日蓮聖人門下寺院だが、後に豊臣秀吉から宗門布教を全面的に許された。「頂妙寺」の仁王門には、その際の許状の扁額

が掲げられている。また寺務所で希望すれば、江戸後期に刻された「頂妙寺版法華経」の版木も見学可能。

見どころ 御真骨堂では、身

延山から日意上人が持ち帰られた日蓮大聖人の御真骨を大切に祀っている。本堂では身延山の七面大明神と同じ木を使い、姿も同じにつくった御神体を安置。そういったことから「妙傳寺」は「西身延」「関西身延」とも呼ばれている。

★10月8日(木) 14時〜唱題行・鬼子母神祭、15日(木) 14時〜妙見祭、11月8日(日) 14時〜唱題行・鬼子母神祭、11日(水) 11時〜先師法要、15日(日) 14時〜妙見祭

延慶元年(二二〇八年)日興上人の付弟であった日尊上人が帝都弘通の拠点として法華堂を開かれたことにはじまり、「教学の山」と「師厳道尊」の遺風を誇る根本道場として現在に至っている。

寂光寺 (顕本法華宗)

★10月19日(月) 14時〜七面天例祭、11月13日(金) 14時〜御会式、19日(木) 14時〜七面天例祭

歴史 天正六年(一五七八年)に日淵上人によって創建。二世の日海上人は囲碁の名人で、信長・秀吉・家康も師事したほど。かつての塔頭の名をとり本因坊算砂と名乗られた。

見どころ 本因坊ゆかりの囲碁にまつわる宝物や囲碁関係の資料を展示。予約をすれば住職から説明を受けることができ、寺の歴史や宝物のいわれについてよりよく知ることが出来る。なお、本因坊発祥の頃に伽藍があった寺町二条付近には、由来を記した駒札と石の碁盤が置かれている。

★左京区仁王門通東大路西入ル北門前町四六九 Ⅷ〇七五

(七七二) 六九六二 九時〜十時 境内自由、団体拝観は要予約(本堂・宝物拝観は事前連絡がベター) Pあり 市バス「東山仁王門」バス停下車すぐ地下鉄東西線「東山」駅から徒歩九分

要法寺 (日蓮本宗)

延慶元年(二二〇八年)日興上人の付弟であった日尊上人が帝都弘通の拠点として法華堂を開かれたことにはじまり、「教学の山」と「師厳道尊」の遺風を誇る根本道場として現在に至っている。

★11月8日(日) 日蓮聖人御会式

延慶元年(二二〇八年)日興上人の付弟であった日尊上人が帝都弘通の拠点として法華堂を開かれたことにはじまり、「教学の山」と「師厳道尊」の遺風を誇る根本道場として現在に至っている。

本館寺 (法華宗本門流)

★10月12日(月) 17時〜御会式御速夜法要、13日(火) 10時〜御会式御正當法要

歴史 応永二十二年(一四一五年)日隆聖人によって建立。以来、戦乱や大火などによって五度焼失、七度の再建を行った。本館寺の変は四度目の再建後に起こっている。

見どころ 永い歴史の中で守り抜いた宝物を宝物館「大寶殿」に展示。刀や茶道具といった織田信長ゆかりの宝物、芸術家による美術品、宗教的な寺宝がじっくり鑑賞できる。本堂は平成二十四年三月末まで改修中なので仮本堂で参詣を。御本尊は宝物館にて拝観可能。

★中京区寺町通御池下ル下本館寺前町五二二 Ⅷ〇七五(二二二) 五三三五 七時〜十七時 境内自由 宝物館十時〜十六時 替え期間と年末年始休 Pあり 地下鉄東西線「京都市役所前」駅下車すぐ

一、できる 二、必要 三、できる 四、心持ち 五、三百円 六、ある 七、五百円

十一、二十二世法主となられ、その活躍から「中興三師」と称されている。

本満寺 (日蓮宗)

応永十七年(一四一〇年)に創立。歴世の中で十二世日重、十三世日乾、十四世日遠の三師はそれぞれ、身延山の第二十、二

★10月11日(日) 月例施餓鬼、19日(月) 七面宮祭、11月1日(日) 妙見宮祭、8日(日) 月例施餓鬼、15日(日) 御会式、19日(木) 七面宮祭

歴史 応永十三年(一四〇六年)日陣聖人によって創建。天文八年(一五三九年)には、後奈良天皇に召された日覺聖人が宮中で法華経を講じられたことから、勅願寺となる。

立本寺 (日蓮宗)

★10月18日(日) 御会式(団体参開帳予約なしで可、個人も可)

歴史 日像聖人ご建立の「妙顯寺」が叡山僧兵に破却され、明徳四年(二三九三年)日実上人がその地に再建。「本寺を立てる」との意味を込め「立本寺」と改名された。「妙顯寺」とともに「三具足山」という。

見どころ 本堂では、戦国武将・松永弾正の家臣がかぶとを被せて戦勝を祈ったため「冑の祖師」と呼ばれる日蓮聖人像や、須弥壇背面に描かれた「十六羅漢図」が拝観可(要予約)。また二十世日審上人が母親の幽霊に飴で育てられたとの伝説から「幽霊子育飴」も授与。

★上京区七本松通仁和寺街道上ル一番町一〇七 Ⅷ〇七五(四六一) 六五一六 九時〜十七時 境内自由 本堂・客殿拝観五百円(要予約) Pあり 市バス「北野天満宮前」バス停下車徒歩十分 嵐電北野線「北野白梅町」駅から徒歩十五分

一、できる 二、必要 三、できる 四、千円 五、五百円 六、ない 八、ある

一、できる 二、必要 三、できる 四、千円 五、五百円 六、ない 八、ある

宥清寺 (本門佛立宗)

延慶元年(二二〇八年)、日蓮大士の直弟子の一人、日辯上人が藤原定家の子孫を教化され、定家卿の旧跡を寺院に。明治二年(一八六九年)、本門佛立宗の開導・日扇聖人が、ここを佛立講の根本道場と定められた。

★10月11日(日) 月例施餓鬼、19日(月) 七面宮祭、11月1日(日) 妙見宮祭、8日(日) 月例施餓鬼、15日(日) 御会式、19日(木) 七面宮祭

歴史 日像聖人ご建立の「妙顯寺」が叡山僧兵に破却され、明徳四年(二三九三年)日実上人がその地に再建。「本寺を立てる」との意味を込め「立本寺」と改名された。「妙顯寺」とともに「三具足山」という。

本禅寺 (法華宗陣門流)

★10月12日(月) 17時〜御会式御速夜法要、13日(火) 10時〜御会式御正當法要

歴史 応永十三年(一四〇六年)日陣聖人によって創建。天文八年(一五三九年)には、後奈良天皇に召された日覺聖人が宮中で法華経を講じられたことから、勅願寺となる。

見どころ 境内に足を踏み入れれば、まず白くて大きな本堂が目にとまる。市内でも珍しい白壁の本堂は、漆喰の蔵づくり。現在地に伽藍ができるまで四度の火災にあったことから、これ以上焼け落ちないようにと蔵づ

★上京区七本松通仁和寺街道上ル一番町一〇七 Ⅷ〇七五(四六一) 六五一六 九時〜十七時 境内自由 本堂・客殿拝観五百円(要予約) Pあり 市バス「北野天満宮前」バス停下車徒歩十分 嵐電北野線「北野白梅町」駅から徒歩十五分

一、できる 二、必要 三、できる 四、千円 五、五百円 六、ない 八、ある

一、できる 二、必要 三、できる 四、千円 五、五百円 六、ない 八、ある

宥清寺 (本門佛立宗)

延慶元年(二二〇八年)、日蓮大士の直弟子の一人、日辯上人が藤原定家の子孫を教化され、定家卿の旧跡を寺院に。明治二年(一八六九年)、本門佛立宗の開導・日扇聖人が、ここを佛立講の根本道場と定められた。

★10月11日(日) 月例施餓鬼、19日(月) 七面宮祭、11月1日(日) 妙見宮祭、8日(日) 月例施餓鬼、15日(日) 御会式、19日(木) 七面宮祭

歴史 日像聖人ご建立の「妙顯寺」が叡山僧兵に破却され、明徳四年(二三九三年)日実上人がその地に再建。「本寺を立てる」との意味を込め「立本寺」と改名された。「妙顯寺」とともに「三具足山」という。

立本寺 (日蓮宗)

★10月18日(日) 御会式(団体参開帳予約なしで可、個人も可)

歴史 日像聖人ご建立の「妙顯寺」が叡山僧兵に破却され、明徳四年(二三九三年)日実上人がその地に再建。「本寺を立てる」との意味を込め「立本寺」と改名された。「妙顯寺」とともに「三具足山」という。

見どころ 本堂では、戦国武将・松永弾正の家臣がかぶとを被せて戦勝を祈ったため「冑の祖師」と呼ばれる日蓮聖人像や、須弥壇背面に描かれた「十六羅漢図」が拝観可(要予約)。また二十世日審上人が母親の幽霊に飴で育てられたとの伝説から「幽霊子育飴」も授与。

★上京区七本松通仁和寺街道上ル一番町一〇七 Ⅷ〇七五(四六一) 六五一六 九時〜十七時 境内自由 本堂・客殿拝観五百円(要予約) Pあり 市バス「北野天満宮前」バス停下車徒歩十分 嵐電北野線「北野白梅町」駅から徒歩十五分

一、できる 二、必要 三、できる 四、千円 五、五百円 六、ない 八、ある

一、できる 二、必要 三、できる 四、千円 五、五百円 六、ない 八、ある

宥清寺 (本門佛立宗)

延慶元年(二二〇八年)、日蓮大士の直弟子の一人、日辯上人が藤原定家の子孫を教化され、定家卿の旧跡を寺院に。明治二年(一八六九年)、本門佛立宗の開導・日扇聖人が、ここを佛立講の根本道場と定められた。

★10月11日(日) 月例施餓鬼、19日(月) 七面宮祭、11月1日(日) 妙見宮祭、8日(日) 月例施餓鬼、15日(日) 御会式、19日(木) 七面宮祭

歴史 日像聖人ご建立の「妙顯寺」が叡山僧兵に破却され、明徳四年(二三九三年)日実上人がその地に再建。「本寺を立てる」との意味を込め「立本寺」と改名された。「妙顯寺」とともに「三具足山」という。

立本寺 (日蓮宗)

★10月18日(日) 御会式(団体参開帳予約なしで可、個人も可)

歴史 日像聖人ご建立の「妙顯寺」が叡山僧兵に破却され、明徳四年(二三九三年)日実上人がその地に再建。「本寺を立てる」との意味を込め「立本寺」と改名された。「妙顯寺」とともに「三具足山」という。

見どころ 本堂内部の御宝前に、日蓮大士が自ら開眼された最古の「日蓮聖人坐像」(非公開)が奉安され、国の重要文化財に指定されている。春には本堂前のしだれ桜をはじめ幾種類もの花で境内が彩られ、その見事な姿を遠方から見物に訪れる人も多い。

★上京区一条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一 Ⅷ〇七五(四六三) 四六二〇 五時〜十八時 境内自由(本堂ほか拝観は寺務所へ相談) Pあり 市バス「北野天満宮前」バス停下車徒歩三分 嵐電北野線「北野白梅町」駅から徒歩十分

一、できる 二、必要 三、できる 四、千円 五、五百円 六、ない 八、ある

京都十六本山
MAP

日蓮宗 妙覚寺

日蓮宗 本法寺

日蓮宗 妙顕寺

本門法華宗 妙蓮寺

法華宗真門流 本隆寺

日蓮宗 妙傳寺

日蓮宗 頂妙寺

顕本法華宗 寂光寺

日蓮宗 要法寺

法華宗本門流 本龍寺

日蓮宗 本満寺

法華宗陣門流 本禪寺

本門佛立宗 宥清寺

日蓮宗 立本寺

顕本法華宗 妙満寺

日蓮宗 本圀寺

七五三無事成長御礼参拝、13日(金) 10時〜高祖大土御命日総講会、17日(火) 佛立開導日扇聖人御命日総講会、22日(日) 9時半〜弘道研修会

妙満寺
(顕本法華宗)

本圀寺
(日蓮宗)

歴史 日什大正師が康応元年(一三八九年)に創建。天正十一年(一五八三年)から四百年にわたり寺町二条にあったが、昭和四十三年に市街地の喧騒をさげ、現在地へ移転。

見どころ 四月初めにしだれ桜、五月初めにはツツジの見頃を迎える「妙満寺」。境内では、インド・ブツダガヤ大塔を模した仏舎利大塔が目引く。ほかにも、「安珍・清姫の鐘」や宝物が並ぶ展示室、俳諧の祖・松永貞徳が作庭した「雪の庭」など見どころ多彩。本堂に参拝すれば、壮大な比叡山が正面に臨める。

★妙満寺左京区岩倉幡枝町九一 ㊚〇七五(七九一) 七二七 九時〜十六時 境内自由 本堂・庭園・展示室拝観三百円 Pあり 京都バス「幡枝」バス停から徒歩三分 叡山鞍馬線「木野」駅から徒歩五分 地下鉄烏丸線「国際会館」駅から徒歩二十分

一、できる 二、必要 三、できる 四、心持ち

歴史 日蓮大聖人が立教開宗後に鎌倉でお住まいになった法華堂を發祥とする寺院で、貞和元年(一三四五年)に京都へ移遷された。水戸黄門で有名な水戸光圀公ゆかりの寺院でもある。

見どころ 大聖人が肌身離さず拝んでおられた立像釈尊像を祀る本師堂、安置された釈迦如来像と多宝如来像のやさしい表情が印象的な本堂。どちらも堂内を拝観できる。また「日蓮と法華の名宝」展開催時には、壁画に彩られた桃山時代の経蔵内部を公開予定。

★山科区御陵大岩六番地 ㊚〇七五(五九三) 九一九一 十時〜十六時 境内自由 Pあり 地下鉄東西線「御陵」駅から徒歩十分

二、必要 三、できる 四、千円 五、三百円 六、ある 七、五百円 八、ない

★10月13日(火) 御会式、11月24日(火) 清正公大祭

五、三百円 六、ある 七、三百円

★10月12〜13日(月・火) 宗祖御会式(団参開帳要相談)、11月7日(土) 月例法要(団参開帳要相談)

一枚の切符から
国内・海外 団体参拝旅行まで

knt!
近畿日本ツーリスト

カタチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし

お問い合わせは: 団体参拝推進部
〒101-8641 東京都千代田区神田松永町19-2 東京近鉄ビル5F
東京 TEL 03-3255-7953
京都 TEL 075-255-1425

~上質な「旅の時間」の贈り物メイトペア宿泊ギフト券~

ベストセレクション

お二人様で一泊の旅が
お楽しみいただけるギフト券。
大切なあの人や
お世話になった方々に、
上質な「旅の時間」を贈ります。

ご利用方法

ご選択 専用宿泊カタログからご希望の旅館またはホテルを選択。

ご予約 全国の近畿日本ツーリスト、KNTツーリストにて、ご希望の宿泊日などをご予約。(ご来店またはお電話にて)

お渡し ご予約完了後、ご予約確認書類*をお渡し、またはお送りさせていただきます。
*ベストセレクション宿泊施設券とご宿泊クーポンなど

ご出発 ご予約確認書類を旅館または、ホテルのフロントにご提示ください。

◆日本全国から厳選した100軒の旅館・ホテル。
※旅館・ホテルの件数は変更になる場合があります。

◆大切な方へのお祝いやプレゼントにも最適です。

◆ギフト券に込められた、ささやかながらも粋な心遣い。

ベストセレクションのお求めお問い合わせは
全国のKNTグループ各支店(近畿日本ツーリスト、KNTツーリスト)詳しくはホームページで...

<http://www.knt.co.jp/kanren/support.html#gift>



各派・教団・短信

顕本法華宗

◆二月二十四日、総本山妙満寺において第六十四定期宗会が開催され、平成二十年度の決算、平成二十一年度の予算案などが承認された。また、藤崎広学宗務総長の二期目となる再任が承認され、新体制の内局人事も承認された。

◆二月二十八日、開祖日什大正師御開山会が、総本山妙満寺において中村日玄現下大導師のもと厳修された。関東教区では、品川本光寺(二十七日)と、木更津本立寺(二十八日)において奉行された。

◆五月十六日、十七日の二日間、わたり、総本山妙満寺において春季報恩大法要を厳修。全国から多数の檀信徒が参詣、『立正安国論』奏進七五〇年奉讃法要も奉行され、境内は大変な賑わいを見せた。また、期間中「安珍清姫の鐘」铸造六五〇年の記念法要も併修、鐘供養に引き続き、金剛流二十六世宗家・金剛永護氏による奉納舞、和歌山県道成寺院代・小野俊成師による記念講演があった。

◆五月二十八日、寛文法難顕彰参拝(事務局長・世良隆善師)が行われ、中村日玄現下をはじめとする十四名が、日英・日心上人が配流された宮崎県杯の顕彰碑を訪れ、強風の吹く悪天候の中で報恩法要を修行した。

◆六月九日、総本山妙満寺において、教学研究所主催「公開研究例会」が開催され、若手研究員が日頃の研究成果を発表した。また、園田学園女子大学教授・岩崎日出

男氏を講師に招き、「日蓮聖人の真言宗祖師たちに対する批判について」と題する講演が行われた。

◆七月一日、総本山妙満寺において、全国布教師研修会が行なわれた。本宗布教の現場で活躍する布教師各師が参加、相互に講演を行うなど研鑽を深めた。また、布教師会の総会も併せて開催された。

◆七月二十七日、三十日の三泊四日、総本山妙満寺を会場に、第四十六回顕本法華宗青年錬成会が開催される。約百名の小・中学生が参加、短期間ながら読経や行儀作法、清掃奉仕など、本山での小さな修行に汗を流した。(吉本栄起)

法華宗真門流

◆二月十七日、総本山本降寺に於いて「春季大法会」が厳修され、千部会法要、御開祖日真和尚御命日法会、総本山歴代聖人年忌法要など、多くの法要が営まれた。

◆五月十七日、第四教区「合掌運動北海道大会」開催。二十三、二十六日、第一教区「第二十九回檀信徒の集い」開催。二十六、二十七日、第二教区「合掌の旅」開催。二十六、二十七日、第三教区「第二十五回教区研修会」開催。

◆六月十九日、総本山本降寺に於いて真門教学講習会が開催された。午前の部は「布教研究について」、講師、学林長岩崎暉上人。午後の部は「立正安国論の現代的意義について」講師、宗学研究所長林日圓現下。(森田量哲)

本門法華宗

◆三月九日、第九十七回本門法華宗宗会(藤井日靖宗務総長)が、大本山妙満寺卯木講堂で開催され、藤井総長の宗政方針に続き、宗会議長以下の役員人事、予決算の承認可決他全十六議案を議定して閉会。

◆四月十二日、大本山妙満寺(松下日肆貫首)に於て、本山三大会の一つである春季大法要が奉修された。松下貫首の御親教に続き、

春季志霊法要・檀信徒志霊法要・永代供養法要が奉修された。

◆本門法華宗学院(渡辺日恩学院長)では、第二百二十八回教学講習会を三月二十六、七日、第二百二十九回同会を六月十九、二十日、大本山妙満寺卯木講堂にて開講。両講習会閉講式後、教師資格検定試験が行なわれた。

◆同学院教務部より三月二十五日付で立正大学北川前肇先生講述の『四帖抄に聞く(六)』が、三月三十一日付で、法華宗(本門流)興隆学林専門学校大平宏龍先生講述の『日蓮教学の大綱(二)』と、学院にて編集された初学者向け学院テキスト「本門法華宗入門(三)」が発行された。

◆同布教部より、布教紙『生きる』第五十二水華号、信報『信行』第七百七十一号を各々平成二十一年七月一日で発行。(木村光正)

国柱会

◆二月一日(日) 月旦天国禱。十四日(土) 紀元節慶讃法要。十四日(土) 妙宗大靈廟各局輪番常勤給仕。十五日(日) 釈尊涅槃慶讃法要。妙宗大靈廟例月供養会。十六日(月) 聖祖降誕慶讃法要。十七日(火) 恩師(田中智学先生) 命日忌。常勤給仕。

◆三月一日(日) 月旦天国禱。十四日(土) 理事会。十五日(日) 国柱会中央連合協議会有志園内清掃奉仕。十七日(火) 恩師忌。常勤給仕。十九日(木) 二十日(金) 妙宗大靈廟各局輪番常勤給仕。二十日(金) 妙宗大靈廟春季(二十日) 妙宗大靈廟各局輪番常勤給仕。二十日(金) 妙宗大靈廟春季(二十日) 妙宗大靈廟各局輪番常勤給仕。十九日(日) 妙宗大靈廟例月供養会。二十八日(火) 立正会慶讃法要。二十八日(火) 二十九日(水) 第七十九回身延登詣団実施。(森山真治)

◆二月二十三日、スリランカ国フル四周年法要。

◆二月二十五日、スリランカ国足山三十一周年法要。

◆二月二十七日。スリランカ国ワラバネ二十六周年法要。

◆三月三十一日、スリランカ国アンパラー二十一周年法要。

◆二月十三日、四月八日、第八回米国東海岸「新春を迎える行進」

◆二月十四日、十七日「止めよ。山頂の破壊を！」行進(米国ケンタッキー州)

◆二月十四日、三・一ピキニデー平和祈念行脚(東京・焼津)

◆四月二十七日、清澄山仏舎利塔四十五周年記念法要。

◆五月七日、熊本・花岡山仏舎利塔五十五周年記念法要。

◆「法華経の折伏修行の肝心は、不軽菩薩品第二十に説かれてある。その行儀は法華経乃至一代聖教を誦誦する事ではない。およそ人を見てはわざわざ其の人の許に往いて但行礼拝する事である。すべて但行礼拝に結論されざる講義や折伏は、みな論語読みの論語知らずの類である。藤井日達」

◆五月十七日、成田仏舎利塔八周年記念法要(牧野行輝)

◆一月二十四日、午後三時理事會(京一宗務所)

◆一月二十四日、午後三時理事會(京一宗務所)

◆一月二十四日、午後三時理事會(京一宗務所)

◆一月二十四日、午後三時理事會(京一宗務所)

◆一月二十四日、午後三時理事會(京一宗務所)

◆一月二十四日、午後三時理事會(京一宗務所)

◆一月二十四日、午後三時理事會(京一宗務所)

◆一月二十四日、午後三時理事會(京一宗務所)

◆一月二十四日、午後三時理事會(京一宗務所)

◆二月二十七日、平成二十一年一月二十三日付けをもって文部科学省より改正の認証を受け施行した。

◆法規改正に伴い、責任役員が一名増員され、蓮池光洋(東京・眞源寺)が就任。また、教化部が布教部と名称変更し、加藤信浄が財務部長から布教部長に転任。渡辺明博が総務主事から財務部長に就任。

◆第十五回教師養成特別講習会が昨年より開催され、全三回の講習を受け検定試験に合格した受講生十八名が資格を得て教師となった。

◆法華宗青年伝道隊の第八期隊員養成特別訓練が、茂原市大本山鷲山寺において三月六日、十日まで開催され、二十八名の青年僧が新伝道隊員として布教の第一線に立つこととなった。

◆宗会議員の任期満了により、十三選挙区全てにおいて選出し、また大本山議員も選定され下記の者が四月一日をもって就任した。

一、教区選出議員
北海道・若林弘基(赤平市・日現寺)
東北・土田隆英(秋田市・信隆寺)
千葉・平田義範(千葉市・本興寺)
東京・三吉廣明(東京都・妙壽寺)
東海・鏡東学(静岡県・浄泉寺)
北陸・中村日珠(石川県・宣龍寺)
京都・中山孝明(京都市・信正寺)
大阪・富岡謙昭(高槻市・常行寺)
兵庫・金井孝顕(神戸市・感應寺)
淡路・山本恵彦(洲本市・本妙寺)
中国・菊地恵祐(岡山市・松壽寺)
四国・佐々木明乘(徳島市・妙法寺)
九州・詠田日守(宮崎市・妙経寺)
二、大本山選出議員
光長寺・久保木学洋(沼津市・山本坊) 鷲山寺・小山孝正(千葉県・不動寺) 本能寺・青木日政(鹿児島市・蓮隆寺) 本興寺・清水常光(尼崎市・本成院)

◆四月七日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑において戦没者慰霊法要が行われ、法要終了後、原井慈風宗務総長の挨拶があり、今日の様々な諸問題は、我々現代人が患っている心の問題であり、そのためには宗祖の「立正安国」の御心に気がつかなければいけないと訴えた。

◆第六十三次定期宗会が五月十八日、二十日に宗務院において開催され、原井総長の施政方針に続き、本年度予決算の承認可決等、十二

議案を議定して閉会。

◆全国宗務所長が五月二十六日、二十八日に宗務院において開催され、本年度の宗務執行等二十議案を協議して閉会。

◆七月二日、「立正安国論」進覧七百五十年を記念して、「誓願の集い」が東京都・獅子吼会において開催され、御導師に菅長大塚日正現下、四大本山御貫首御臨席し多数の参詣があった。光長寺石田日信現下が「大悲菩薩の誓願を拝す」と題し、講演された。「立正安国論」の御魂・精神を今日の世に照らし、現代の私達が再び世法に佛法を発信する目的で、多くの僧侶が集う。お題目総下種のため、当日早朝より、午後二時の法要に間に合うべく、青年伝道隊が中央区の宗務院から、新宿区の獅子吼会まで唱題行脚を実施した。(平田義生)

日蓮聖人門下連合会

●目的
本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、団結を強化することを目的とする。

●事業
本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。

- 1、祖廟護持の組織強化
 - 2、教育事業の提携
 - 3、布教の連合強化
 - 4、懇談会・研究会・講演会等の開催
 - 5、各種出版物の刊行
 - 6、海外布教の提携及び交流
 - 7、対外的な各種の運動
 - 8、その他
- 加盟団体
日蓮宗 法華宗本門流
本門法華宗 法華宗陣門流
本門佛立宗 日蓮本宗
法華宗真門流 本門法華宗
国柱会 日本山妙法寺
京都門下連合会